

# アイデア提案用紙

受 理 番 号

23—A001

標 題	市ホームページを活用した市民活動団体が主催する有益イベント情報等の提供		
想定される効果 (該当項目をチェック、複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの向上	<input checked="" type="checkbox"/> 事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 経費の節減 <input type="checkbox"/> 収入の増加
	<input checked="" type="checkbox"/> 市のイメージアップ	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意識変革	<input type="checkbox"/> 政策・事業の改善
提案を総括すべき課	行政経営課、広報課、協賛等する関係課全般		
1 今のやり方(現状・問題点)……具体的に			
<p>・市が実施する各種行事、イベント、講演会等の周知・募集については、募集チラシを公民館等の公共施設へ掲出、学校を通じて児童・生徒や家庭への周知、広報はだのや市ホームページでの情報提供等により、広く周知・募集しています。</p> <p>しかし、青年会議所をはじめ、NPO法人、ボランティア活動等をしている各種市民活動団体は、市民へ公共・公益的活動として同様の講演会やイベント等を実施するのに、その周知や募集に苦慮しています。実際、個人病院等の掲示板のお願いしたりしています。また、市関係課や教育委員会へ後援、協賛等の依頼をするにも、担当部署と調整するのに苦慮し、その結果としてイベントチラシや看板等に市や教育委員会の協賛のネーミング印刷をすることで終わり、広く周知募集できないことが多い。</p>			
2 私の考え方(改善案)……具体的に			
<p>・市が各種市民活動団体等が実施する各種行事、イベント、講演会等へ協賛、後援等した事業については、市のホームページに「市民団体等が実施するイベント情報」という欄を設け、協賛した関係課が広報課へ依頼し、ホームページへ掲載し周知・募集できるようにする。</p> <p>・形式的な名義後援・協賛等の決定から、真に市民サービスの向上につながります。また、市民の視点、市民感覚を備えた職員意識が芽生えます。</p>			
3 このように良くなります(改善効果)……数量等を具体的に			
効果額 (算定根拠)	○ 効果額500万円/年(市が実施する場合の経費 約5万円(講師料、消耗品等)×100回) ※環境、教育、福祉、人権、子育て、平和、国際交流、スポーツなど分野は広い。		
その他の効果	<p>・「市民の力、地域の力」による、公共を担う多様な主体との協働・連携事業となります。</p> <p>・ホームページ掲載のみで市の負担は発生しない。</p> <p>【参考実績】</p> <p>・教育委員会の後援実績(平成22年度181件、平成21年度187件)、</p> <p>・市の後援実績(平成22年度15件、/但し市民自治振興課窓口のみ)</p>		